

経営工学系 経営工学コース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

経営工学系では、次のような人材を求めます。

- ・ 経営工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- ・ 経営工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- ・ 国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- ・ 経営工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- ・ 高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、経営工学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、経営工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

経営工学系 経営工学コース (博士後期課程)

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 経営工学・経済学分野の専門基礎学習

数理・情報・工学技術に関する知識を活用して、経営・経済活動における課題を発見し探究する能力の学修

B) 経営工学・経済学の応用学習

経営工学・経済学的視点から、技術、組織、経済問題に対する新たな解決策を立案できる能力の修得

C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

主体的にプロジェクトを立案し、遂行するリーダーシップ力をつける学修

D) 社会との関わりを追体験する学習

経営工学における先端的事象に関する研究の成果をグローバルに発表・発信する力をつける学修

E) コミュニケーション能力の強化学習

博士論文研究への取り組みを通じて、新たな問題・課題に対して研究を遂行する能力と、講究等を通じた日本語および英語による発表・説明能力、文書化・情報伝達能力の養成学修。

ディグリー・ポリシー (修得する力)

経営工学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・数理・情報・工学技術に関する知識を活用して、経営・経済活動における課題を発見し探究する能力
- ・経営工学・経済学的視点から、技術、組織、経済問題に対する新たな解決策を立案できる能力
- ・日本語および英語による説明能力、文書化・情報伝達能力
- ・新たな問題・課題に対して研究を遂行する能力
- ・経営工学における先端的事象に関する研究の成果をグローバルに発表・発信する力
- ・プロジェクトを立案し、遂行するリーダーシップ力